

10 番 遠 藤

受付番号9番、議席番号10番、遠藤和秀です。

東山北1000計画推進に伴う生活道路の整備について、質問します。

平成22年6月に「東山北1000まちづくり基本構想」、平成23年3月に「東山北1000まちづくり基本計画」、平成26年3月に「山北町第5次総合計画」が策定されました。それにより、積極的な企業誘致もされ、大型商業施設が開店し、計画が推進されている。その反面、それによる交通対策、生活道路の整備も必要性が問われてきている状況の中で、次の3点について質問をする。

1、向原保育園前町道尺里橋中里線(町道56号)、水上橋入り口約40メートル付近は、車両すれ違いができず、カーブミラーは設置してあるが、見通しも悪く対向車が先に入ってきたときに急ブレーキをかける場合もあり、どちらかがバックし、すれ違いをする状況である。特に中学生の通学路になっており、保育園の送り迎え時間にはとても危険な場所である。2019年3月付で、第5次総合計画(後期基本計画)に記載されている、町道の整備の中で「町民に密着した生活道路の整備を推進します」とある。しかし、具体的にこの箇所の道路整備の位置づけはされていない。このような実情から今後、整備計画に位置づけする考えはないか伺いたい。

2、喫緊の課題としては、水上橋入り口付近約40メートルは、特に朝夕の通学路としての危険度が高い。ここには、河川側の官地がある。そこを活用した中で、安全対策ができるのではないかと思うが、町長の考えはどうか。

3、水上橋入り口付近約40メートル道路は幅が狭い。当面の応急対策は、通学路として、歩行者保護のグリーンベルトを設置したらどうか。

以上です。

議 長 答弁願います。

町長。

町 長 それでは、遠藤和秀議員から、「東山北1000計画に伴う生活道路の整備について」の御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「町道尺里橋中里線の水橋入り口約40メートル付近は、車両のすれ違いができず、とても危険な場所であるが、第5次総合計画(後期基本計画)では、具体的に、この箇所の道路整備の位置づけはされていない。今後、整備計画に位置づける考えはないか伺いたい」につい

てであります。御指摘の箇所は、町道56号尺里橋中里線の一部であり、水上橋から下流の尺里川左岸に位置する狭小区間で、道幅が3.8メートル程度しかなく、車のすれ違いが困難な箇所であります。第5次総合計画後期基本計画では、町道整備箇所として位置づけようとはしておりません。町内にはこの箇所と同様に整備が必要な道路が多数存在しておりますが、通学路における児童・生徒の交通安全対策は、最優先されるべきであることも事実でありますので、水上橋付近の改修については、今後、計画の見直し時に、通学路の交通安全対策からも道路の拡幅も含め、道路計画への位置づけを検討してまいりたいと考えております。

次に、2点目の御質問の「当該箇所の河川側には官地がある。そこを活用した中で、通学路として安全対策ができるのではないかとと思うが、町長の考えはどうか」についてであります。御指摘のとおり、現在、当該箇所には歩道はありませんが、中学生は通学路として利用しており、特に朝夕の通勤通学の時間帯には、多くの人と車両が通行することにより、事故の危険性も高くなりますので、何らかの安全対策が必要であると考えております。

御質問の当該箇所にある河川側の官地である堤部分を歩道として利用できないかについては、河川管理者である県に相談していきたいと考えております。堤部分を利用した通行が実現しますと、車両と人の通行を分離することができ、道路交通環境の整備がなされ、事故の危険性も低下するものと思っておりますので、関係機関や近隣住民と調整し、検討してまいります。

次に、3点目の御質問の「当該箇所は道路幅が狭い。当面の応急対策は、通学路として歩行者保護のグリーンベルトを設置したらどうか」についてであります。グリーンベルトは、歩道が整備されていない道路の路側帯を明るい緑色にカラー塗装することにより、ドライバーに車道と路側帯を視覚的に区分させる効果があり、速度抑制と交通事故を防止することを目的に設置するものです。町では、歩道が整備しにくい狭い路側帯のうち、児童や生徒が多く利用する通学路の危険箇所において、整備を進めており、これまで6カ所で総延長788メートルの設置を行いました。今後も、児童や生徒が多く利用する危険な通学路において、地域住民の意見や要望、通行実態や道路の構造、車両の通行量や速度などを総合的に判断して、グリーンベルトを計画的

に整備してまいりますので、水上橋付近についても、今後、優先的に検討してまいります。

議 長 遠藤和秀議員。

10 番 遠 藤 1 点目の回答が検討してまいりますとの回答ですが、テレビ、新聞等の報道で、毎日のように高齢者の事故をよく耳にします。高齢者だけではなく、急ブレーキ時に後続車の追突防止のためにも車両バック時に歩行者、自転車がいる場合とかもありますので、特に雨のときなど、確認不足になり、危険である、町内に同様な箇所は多くあることは理解しましたが、通学路の早急に位置すべきだと思う。総合計画の位置づけの見直しは5年後になってしまう。特に町民生活に密着した生活道路の整備については5年後では遅くなってしまうと思う。総合計画を途中で見直す考えはないか、よろしく願います。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、当然、実態に総合計画が、がちがちということではございませんので、そういった中で、当然、優先順位が変わってくる、そういったことも考えられるというふうに思っておりますので、そういったようなことは、今遠藤議員から言われましたように、もっと柔軟に考えていきたいというふうには思っておりますけれども、一方では、長期的な財政の問題もございますので、そういったものと勘案しながら進めてまいりたいというふうに思っております。

議 長 企画政策課長。

企 画 政 策 課 長 総合計画の関係ですけれども、第5次総合計画後期基本計画のほうに、おっしゃるように町道の整備ということで載せていただいております。その中で、具体的な事業名として、ここでは7カ所の整備工事を行うというような形になってございますけれども、ここに載っている部分につきましては、あくまで、この事業だけをやるということではなくて、ほかにも必要な箇所があれば、緊急性ですとか、財政的な面を考えて、町のほうで整備をしていくという考えでございますので、ここに位置づけられていないから、ほかの道路については全く改修ですとか、整備は行わないというようなことで載せてあるというわけではございませんので、そういう御理解でお願いしたいと思

います。それと、ここの道路改修の部分だけではないんですけども、総合計画の見直しにつきましては、必要があれば、その都度見直しをしていくというような形になってございますので、そういった部分でもそういう形でもよろしくお願ひしたいと思ひます。

議 長 遠藤和秀議員。
10 番 遠 藤

遠藤和秀議員。

ぜひ、進めていっていただきたいと思ひます。

次に、歩行者安全保護のためにも2点目の答弁で、河川側の官地の利用、歩道の新設、関係機関や近隣住民と調整し検討しますという答弁は、具体的な回答だと理解しました。

次に、グリーンベルトの検討なんですけど、中学生は歩道があるところは、歩道を歩きます。ないところはどうしても横並びで歩いたりする傾向がありますので、歩道をまず早急にやっていただきたいなと思ひます。そちらのほうができるようであれば、グリーンベルトをまず設置しなくてもいいのかなと、あと、どうしてもおくれるようであれば、グリーンベルトではなくても白線だけでも引いたらどうかなと思うんですが、どうでしょうか。

議 長 町長。
町 長

町長。

おっしゃるように、まず、河川のほうの利用ができるかどうか、そういったようなことについて、河川協議というように、若干時間がかかるようでしたら、おっしゃるようにグリーンベルトをつける方向で検討していきたいというふうに思っておりますので、どちらかの方法で、早い遅い、あるいは、また1年以上かかるのであれば、グリーンベルト等を設置できるように、何とか推進してまいりたいというふうに思っております。

議 長 遠藤和秀議員。
10 番 遠 藤

遠藤和秀議員。

はい、ぜひ早急に新設のほう進めていただきたいなと、分離していただきたいなと思ひます。

次に、町では水上橋付近40メートル、この場所、交通事故とか交通量の調査というのはしたことはありますか。

議 長 都市整備課長。
都 市 整 備 課 長

都市整備課長。

この周辺の交通量を調査したことはございませんけれども、町道の中では、向原保育園ですとか、東山北の広場を整備したりとか、原耕地に商業施設が

できたりとか、町道の中では、かなりの交通量があるんじゃないのかなとは思っております。

議 長 遠藤和秀議員。

10 番 遠 藤 私がちょっと調べたところ、交通事故は向原駐在のほうに確認しましたら、5年以内で、水上橋入り口で出会い頭の事故が1件あったというふうなことを聞きました。交通量は7月11日に朝方曇りと、夕方小雨の中で調べた結果ですが、朝7時20分から9時の100分間、上り、山北から松田方面に向かう車両台数が65台、下り、逆に松田から山北方向に向かう車両97台、合計で158台、歩行者が24人、自転車が21台、出会い頭、バックした車両が3台ありました。夕方の15時20分から5時の100分間なんですけれども、上り車両が96台、下り車両が73台、合計で189台、歩行者25人、自転車7台、またバックの出会い頭のほうが3台ございました。そのような状況でした。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、非常に道路を使う方がふえている、また、あるいは、私も近所ですのでよく使いますが、基本的には例えば向原保育園のところ少し停車できるスペースをつけましたけども、あれがルールによって、松田のほうに向かってとめなければいけないと、つまり本村のほうから来て尺里のほうに向けて、右側に停車してはいけないというルールを園のほうでやっておりますので、そうしますと、来てしまった人はUターンしていくか、あるいは1回、尺里のほうから、もう一回246で回って、そして、左側に駐車する、特に園の送り迎えについてはそういうふうなことをやっていらっしゃるということもございます。そういった中で、もう少し使い方がいような方法がないだろうかということで、当然、その中には狭いところはどうしてもかかってきますので、そういったことも含めながら、何とか道路幅員も含めて直していきたいし。また、私も使うんですけども、尺里のほうから行くと、尺里川のほうから入るところと、私のほうからくぐるところでは必ずすれ違いができないので、どうしても片方が来たときにはバックするか、そういったようなことをやっております。これが簡単には当然解消できませんけども、少なくとも尺里川のほうについては、今回の新東名の工事で拡幅もされましたので、あちらのほうはスムーズにいくのかなというふうに

も思っております。

そういったような実際の車の通行の状態を調べながら、よりよい町道の整備というのを、今後心がけていきたいというふうに思っておりますので、いろいろな皆さんからのそういったような御提案をいただければ、町としても積極的に行っていきたいと思っております。

議 長 遠藤和秀議員。

10 番 遠 藤 はい、ありがとうございます。できれば、先ほども答弁のほうで、官地のほうの歩道を、それを何とか早くやっていっていただきたいなと思っております。冒頭でもちょっと言いましたが、カーブミラーを設置してあるんですが、見通しが悪いため、カーブミラーの位置の角度調整、あと確認の見直しのほうを、多額の費用はかからないと思っておりますので、ぜひ、これは大至急進めていっていただきたいと思うのですが、町長のほうは、どういう。よろしくをお願いします。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、電柱があったり、カーブミラーが高さ等の問題もあって見にくかったり、非常にそういったようなところは私も経験しておりますので、そういったものの中で直せるものについては直して行って、できるだけ、皆さんの御不便が少しでも軽減するように、町としても考えていきたいというふうに思っております。

議 長 遠藤和秀議員。

10 番 遠 藤 ぜひ、よろしくをお願いします。

最後に、東山北1000計画で、水上の町営住宅も進んでいく中、一般住宅もふえていくと思っておりますので、しっかりと安全確保した道路整備の計画を町長に考えていただきたいと思っております。

以上で、私の質問のほうは終わります。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、東山北の駅前ロータリーであるとか、そういったことも合わせながら、道路整備というのは、できるだけ速やかに行えるものはやっていきたいと。民間の民地もありますので、御協力いただけるようなことがあれば、ぜひ、さらに推進してまいりたいというふうに思っております。

10 番 遠 藤 以上で、終わります。